

〔1月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



一谷春窓先生

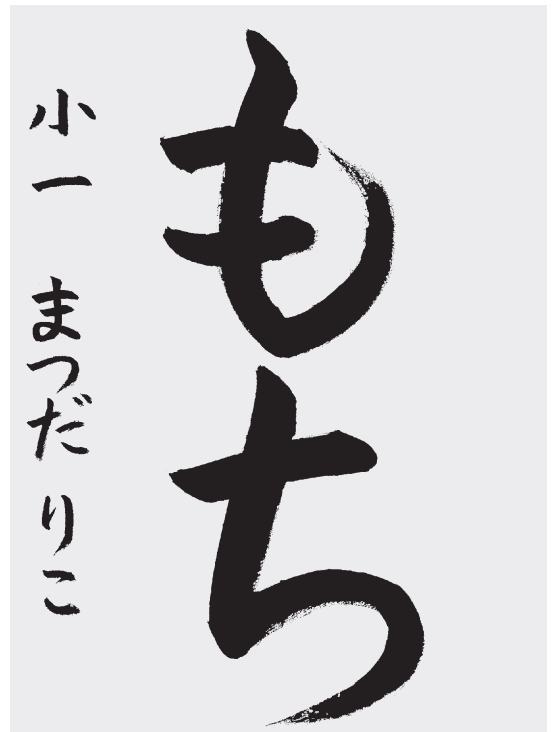
幼・小学1年参考手本



三浦鄭街先生



片岡豪峰先生



崎井恵風先生

〔1月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

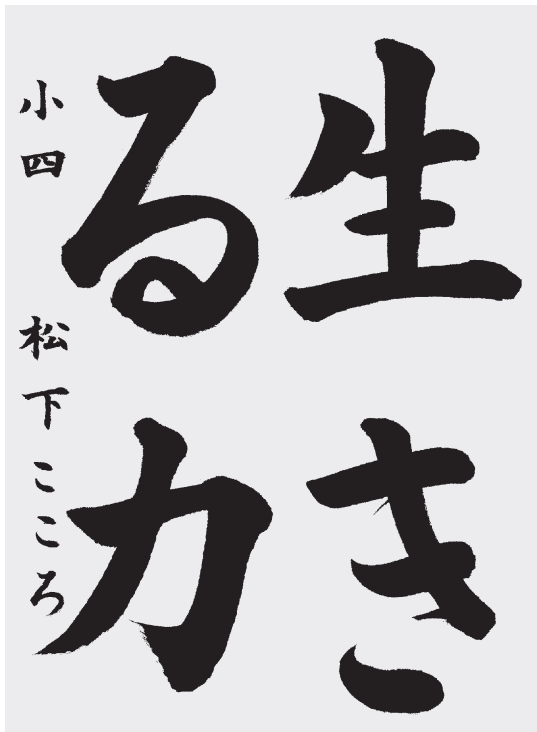


種谷萬城先生

小学3年参考手本



広瀬舟雲先生



名越蒼竹先生



北村白琉先生

〔1月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



小竹石雲先生

小学5年参考手本



後藤大峰先生



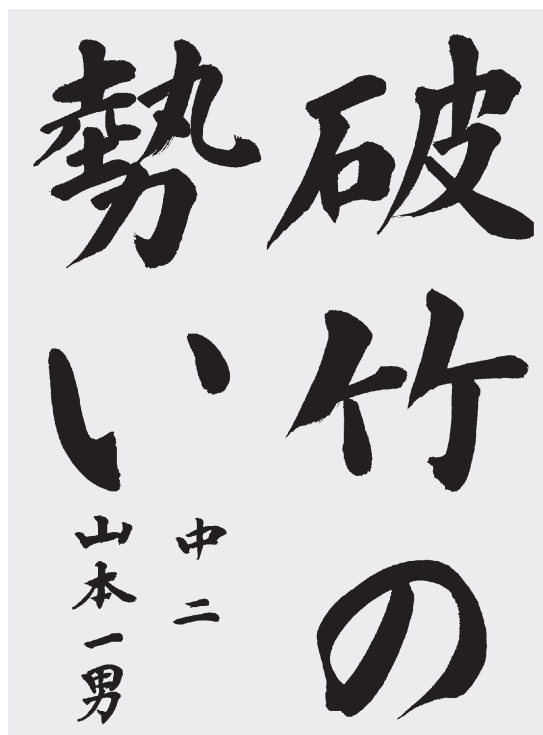
川村美泉先生



千葉蒼玄先生

〔1月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

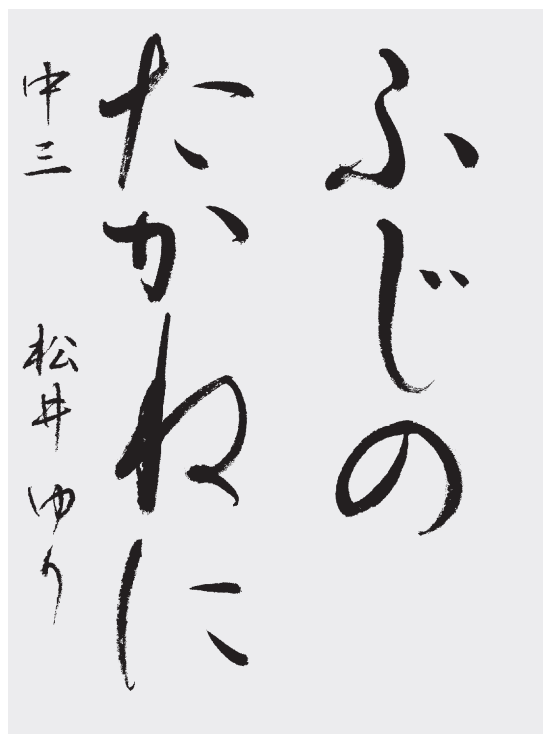
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



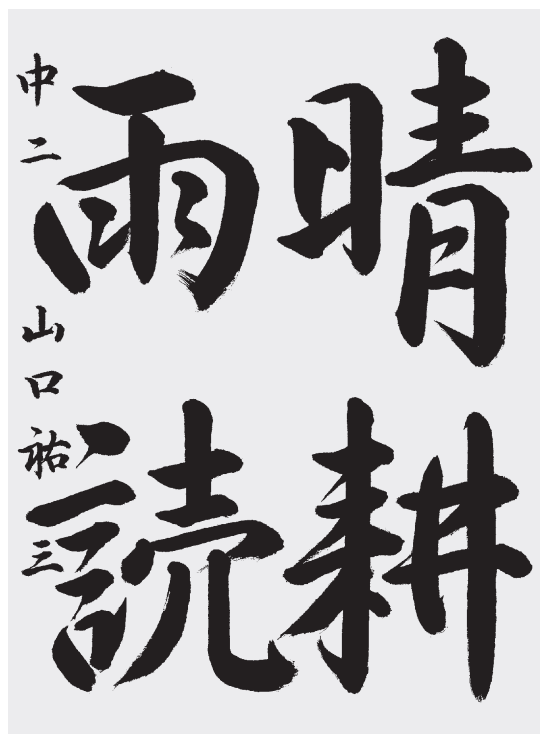
辻元大雲先生



川島舟錦先生



下谷洋子先生



小浜大明先生

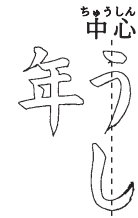
毛筆参考手本解説(1)

1年



あける
とめる
〈筆順〉
初初初初

3年



〈筆順〉
字字字字
之之之之

4年



あける
ましがいやすい
所です
〈筆順〉
初初初初

5年



たて画がでる
〈筆順〉
一丁丁百百百



きれいに払う
〈筆順〉
毛毛毛毛



たて線は中心より
やや右よりに
長くして
すこし上にそろ



「日」の左右のたて
画はすい直に
〈筆順〉
三三三三春春

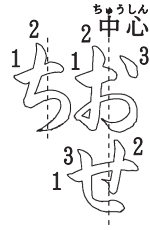


中心線より左で
接する
〈筆順〉
人

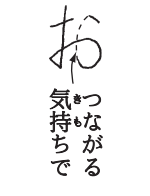


右上がり気味にし
上にそろす

2年



〈筆順〉
知知知知



つながる
気持ちで



横画は同じ間かくで



たて画が
でる



〈筆順〉
ノ一牛牛生
横画は同じ間かくで



横画は等間隔
たて画がでる
〈筆順〉
首首首首



王は右端をそろえる
横画・たて画は
等間隔に



左払いは横部と
中心で交わる
〈筆順〉
力



〈字源〉
留留るる



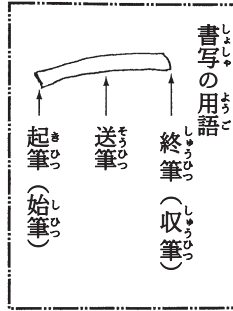
等間隔
字形
心は扁平
にする
〈筆順〉
想



〈筆順〉
ノ一ニ牛

〈筆順〉
於於於於
世世世世
知知知知

ノ一白白白白
一丁丁由由



十木和相想想

毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

あける

中心
私
〈字形〉
〈筆順〉
一ニ千禾私私

中心
決
二本目の横画と交わるまで垂直に
〈筆順〉
ミシ江決決

中心
意
心は偏平にして点画は等間隔に
〈筆順〉
一立音音意意

中心
豊
曲の横画・たて画は等間隔に
〈筆順〉
フ曲曲豊豊豊

中心
夢
一を最大幅に夕の左払いは下に長く
〈筆順〉
とめる 一ササ曲曲夢夢

破
石刃研研破破
〈筆順〉
〈許容〉
皮接する 皮止め

竹
ノムケヤ竹竹
〈筆順〉
〈許容〉
竹の止め

勢
+ 夫 走 勢 勢
〈筆順〉
〈許容〉
曲直 止め 勢 勢 勢 勢

やさしい行書

行書の特徴としてすこし曲線的な線であり、線と線の連続する所がみられる。

線がつながっている

健 耕
気持ちでつながる

青言

以(雨)

ふじの

たかねに

〈百人一首〉
田子の浦にうち出でてみれば
白妙の富士の高嶺に
雪は降りつつ

〈作者〉
山部赤人

〈現代語訳〉

田子の浦の海岸に出てみると、雪をかぶったまっ白な富士の山が見事に見えるが、その高い峰には、今もしきりに雪がふり続けている。

つながる気持ちで

つながる気持ちで

たかねに

つながる気持ちで

ひらがなの字源 (350)

に	ね	か	た	の	し	ふ	源字
仁	称	加	太	乃	之	不	字形
に	ね	か	た	の	し	ふ	

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

※源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

〔1月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 2 年

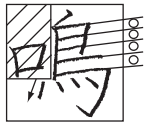
幼・小学 1 年

支 部 名				
	ね	こ	れ	は
段・級	が	は	は	。
	鳴			
学 年	る			
	音			
名 前	で			
	す	大	き	な
	。	か	な	か

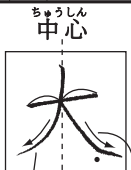
支 部 名				
	も			
だん・きゅう	つ			
	づ			
がくねん	き			
	ま			
なまえ	す			
	。			



長く

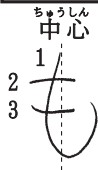


よこかくのかんかくにちゅうい
「口」は小さく、「鳥」は大きく
「ハ」(れっか)のせんのほうこう
にちゅうい



「右はらい」はいったんとめて
から、のびやかにばらう。
「左はらい」のほうこう

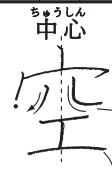
「かね」の字形を正しくかきましよう。



※ひつじゅんにちゅうい



むすびのかたちにちゅうい



穴(あなかんむり) 十 土

「空」をていねいにただしくかきましよう。

〔1月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年

小学 3 年

支部名			
段・級			
学 年	四		
名 前	元吉心春		
	が	の	新
	の	生	聞
	っ	活	に
	て	に	は
	い	関	
	た	係	自
	。	の	分
		あ	た
		る	ち
		事	

支部名			
段・級			
学 年	三		
名 前	矢野大		
	一	一	
	面	こ	
	の	こ	
	銀	は	
	世	北	
	界	国	
	で		
	す	冬	
	。	は	

「新聞」
字形を整えて、つりあいよく書きましょう。

中心
あける
左右のはらいのつりあい

中心
横にはらう

中心
横画は等間隔に
〈筆順〉
一 二 三 四 五 事

「北国」
漢字の形を正しく、ととのえて書きましょう。

平行に
〈筆順〉
一 二 三 北

〈筆順〉
一 二 三 面

せっしかたにちゅうい
〈筆順〉
一 十 廿 廿 世

〔1月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

小学 5 年

支部名			
段・級			
学年	六		
名前	井上健太郎		
	を 観 戦 し ま し た 。	へ 行 き サ ツ カ ー の 試 合	昨 日 、 電 車 で 競 技 場

支部名			
段・級			
学年	五		
名前	加藤心菜		
	て 話 し 合 い ま し た 。	音 楽 会 の 出 し 物 に つ い	月 曜 日 の 五 時 間 目 、

戦

長く
単
単
戦
戦
戦

〈筆順〉
そりは長くし、はねの上はあける

観

長く

〈筆順〉
ヒ
チ
雀
観
観

競

レは折れてから右上に払う

曲がりの終筆を右はしに

『電車』
漢字は、ひらがなよりも少し大きめに書きま
しょう。

物

〈筆順〉
ノ
ハ
牛
物
物

ななめ分間とはらいの方向に注意

間

〈筆順〉
一
一
一
門
門
間

たてと横の分間を整えて

曜

関係

「へん」と「つくり」の

『音楽会』
筆順にしたがって、正しく整えて書きましょう。

〔1月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

※書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン、ボールペン。筆ペンは不可。

支部名	職業で、資格試験があります。 い、病人やけが人の世話をする 看護師は、医師の仕事を手伝
段・級	
学年	
名前	
秋元香	

支部名	職業で、資格試験があります。 い、病人やけが人の世話をする 看護師は、医師の仕事を手伝
段・級	
学年	
名前	
秋元香	

「行書の特徴」
 行書は、楷書のように、点や画を一つ一つ作るのとは違い、流れのある筆使いの中から点画が形成されます。

点画の連続 点画の省略 筆順が変わる
 資格試験 (行書)

点画の連続
 資格試験 (楷書)

「F馬馬」

「看護師」
 行がゆがまないように書きましょう。

中心
 馬の筆順
 「F馬馬」

中心
 「E」の下をあげる
 言言言言言言
 言言言言言言

中心
 その長くする
 病人やけが人の世話

これからの作品締切日と課題

R3年3月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
美しい 梅林	観測	常識	栄光	発表	よろこび	ゆびわ	せ	2月7日	2月
ゆきは ふりつつ	横断歩道	世界旅行	文庫	点画	図工	ポスト	やま		
不断の 努力	古今集	希望の春	約束	お手伝い	花だん	きずな	む	3月8日	3月
菜の花や月 は東に日は 西に	平家納経	平和運動	周囲	美しい花	作文	ビデオ	てん		

2月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

が	竹
ふ	や
り	ぶ
ま	に
し	ゆ
た	き
。	

小 2

う	大
た	き
い	な
ま	声
い	を
ま	だ
す	し
。	

小 3

決	学
め	級
ま	文
し	庫
た	の
。	名
	前
	を

小 4

さ	や	悲
か	が	し
せ	て	み
ま	思	と
す	い	苦
。	や	し
	り	み
	の	は
	花	は
	を	

小 5

て	者	話
い	全	し
る	員	合
こ	が	い
と	目	で
が	的	は
大	を	、
切	理	参
だ	解	加
。	し	

小 6

て	告	菜
な	げ	の
じ	て	花
み	く	は
が	れ	春
深	る	の
い	植	訪
。	物	れ
	と	し
	し	

中学生

美	沖
し	繩
く	は
魅	、
力	季
的	節
で	や
あ	時
る	間
	の
	流
	れ
	と



書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第46回 デジタル教材とデジタル教科書

最近の小・中学校の書写の授業を参観させて頂くと、教室内に設置された電子黒板やモニターに本日学習する教材（お手本）文字そのものが映し出され、教員がスイッチを入れると、教科書の執筆者（専門家）がいわゆるお手本を揮毫している様子の動画が繰り返し放映されるといふ授業展開の場面をよく拝見するようになりました。この動画は途中で一時停止したり巻き戻したりでき、スローで再生すると筆の動きをよく観察することもできる優れたものです。これらはデジタル教材といい、書写教科書の指導書を購入すると授業資料としてついてくるもので、以前の指導書といえば、赤書きといって教科書教材の上や余白の部分にその教材のポイントや学習指導案などの指導法が記されていただけでしたが、今日では、各社とも競って教科書の内容に沿ったこのようなデジタル教材の制作もしているのです。書写の苦手な現場の先生にとってはありがたいものであり、強い味方とでもいえましょう。これを活用している先生方が実に多くなりました。

かつて教員が児童生徒の前で、筆などで揮毫して見せることを「範書する」といいました。「模範的な書をかく」という意味です。昔の教員、特に師範学校を卒業した先生方はとても上手でしたのでこの語が生まれたものと考えます。いまや書写の得意な教員が少なくなり、「範書」というのはいかなるものかということに起因し、「演示する」という語に変わりました。児童生徒の前で書き方を「実際に演じて示す」という意味なので、ここには上手いか下手かの意味はあ

りません。確かに現状と符合しているといえます。

デジタル教材の普及によって、動画ですが「本来の範書」が復活したとも、手軽に見られるようになったともいえます。その点は良いかもしれませぬ。しかし、現場の教員が奮闘努力して演示する必要が同時に少なくなってきた現状に憂いを感じます。かつて、小学校の授業参観で書写の時間があると聞き、楽しみに行ったのですが、授業が始まると学級担任の先生による多少の説明はあったのですが、あとは教科書を見させて、ひたすら児童に書かせているだけだったのがっかりしました。この授業よりは動画があるだけ前進といえますが、動画をういたとしても部分的な筆使いの演示は臆せず取り入れてほしいと思いました。

本年度から実施された新学習指導要領を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善や、特別な配慮を必要とする児童生徒等の学習上の困難低減のため、学習者用デジタル教科書を制度化する「学校教育法等の一部を改正する法律」等関係法令が平成31年4月から施行されました。これにより、これまでの紙の教科書を主たる教材として使用しながら、必要に応じて学習者用デジタル教科書を併用することができるようになりました。紙の教科書の内容の全部をそのままデジタル化して記録した教科書です。慣れ親しんだ今までの紙の教科書から、近い将来、デジタル教科書にすべて移行する可能性が多大です。

（つづく）

今月のホープ



小六 宮崎 瑛 (秀水会支部)

落ち着いた、しっかりした筆運びの作です。起筆や転折がていねいで、安定しています。学年氏名も立派です。



小五 竹内 悠翔 (天心支部)

大きく構えた広がりのある文字、伸々と余裕を感じさせる運筆です。余白の美しい堂々とした、見事な作品です。

支 部 名		日本古来の楽器に尺八がある。竹林の中を過ぎていく風の音を表現できたら名人といえよう。
段・級		
学 年	中三	
氏 名	長谷川 果音	
支 部 名		

中三 長谷川 果音 (芳蘭会支部)

しっかりとした書線で気力の充実を感じます。字形配字共美しく、見応えのある作品になりました。

支 部 名		は し っ て い ま す。 じ ど う 車 が、
段・級	光昭	
学 年	小一	
氏 名	高田 真知	
支 部 名		

小一 高田 真知 (光昭支部)

字形美しく、ハネハライ終筆まで心が行き届いています。名前も気を抜かず、一画毎にていねいで素晴らしい作品です。

秋季昇段級試験最優秀作品



のびやかな筆使いで、リズムカルな行書表現です。全体のまとまりもよく、気配りのある作です。

中三 村山郷華 (青蓮支部)



しっかりと力強い筆運びで、点面のバランスも安定して立派です。名前も力強くていねいです。

小六 田辺姫菜 (八石支部)

支部名	福山
段・級	準特待生
学年	中三
氏名	下井 櫻

庭の木々、芝生、垣根などが、
青い空や白い雲とともに、シャボン
玉の表に映りました。

線が爽やかに澄み、ふところが広く明るい。丁寧にゆるぎなく運筆され、字形・筆脈ともに大変見事です。

中三 下井 櫻 (福山支部)

支部名	竹の子
段・級	
学年	六
氏名	荒木ひなた

一番星が弱い光を放ち、それが満天の星空に変わるころ。

文字の骨格と強い線質が魅力。基礎基本をしっかりと学び、たゆまぬ努力した成果がここに結実しています。

小六 荒木ひなた (竹の子支部)

幼・1年

せ

さかもとりこ

やま

小一 いとうしの

2年

わゆび

小二 いしたさくら

トポス

小二 やまだしゅん

3年

こよびろ

小三 山下 玲子

凶工

小三 石川 あい

4年

発表

小四 田中 綾乃

点画

小四 工藤 俊介

5年

栄光

小五 中島 和宏

文庫

小五 小池 泰巳

6年

常識

小六 尾形 崇

世界旅行

小六 向井 修

中学

観測

中二 広山 速人

横断歩道

中二 大下 裕司

美しい梅林

中三 岡崎 陽花

ゆきはふりつ

中三 沢木みのり

編集余録

○謹賀新年 今年は丑年です。「丑」という字は、手の指を曲げて物を握る様子を表した象形文字で「つかむ」「からむ」という意味があります。中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しているそうです。丑は十二支の二番目で子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされています。丑年には、先を急がず目前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくと言われています。皆さんにとりまして素晴らしい成長の一年となりますように願っております。

○秋季昇段級試験の結果が皆さんのお手元に届いたと思います。審査長の辻元大雲先生より秋季昇段級試験の総評をいただきました。先生からのお言葉を今後の学習に生かしてください。

○秋季昇段級試験の最優秀作品、特待生合格者氏名を掲載しました。おめでとございます。

○朝晩、寒くなって来ましたが、体調管理をしっかりとしてお過ごしください。（菜扇）